

日本語の学習を続けることの大切さ

私は 27 歳の時、技能実習生として、初めて日本にきました。その頃の私は、わかる日本語が少ないため、大好きな町探検や友だちと遊びに行くことができませんでした。特に大きく困った事はありませんでしたが、毎日、同じ事の繰り返しでとても退屈でした。

私は日本に来たころは基本的な日本語が話せる程度でした。それだけでは、日本で生活するだけの日本語力とは言えません。このため、日勤でも夜勤でも必ず勉強をしました。おかげで1年の技能実習が終わる頃には、日本語能力試験4級に合格することができました。少しだけ日本語が話せるようになりましたが、うまく会話ができずに、話を長引かせてしまうことをとても申し訳ないと思っていました。

1年の実習を終え、ベトナムに帰国しました。その後も日本語の学習を続け4年後に再来日をしました。日本に戻ったばかりの頃、とても悲しい思い出があります。当時の私は、ゆっくりとしか日本語が話せませんでした。特に専門的な言葉は難しいので、うまく聞き取れず、上司を怒らせてばかりいました。いつも怒られるのではないかと不安な毎日でした。しかしこの経験は今も私が日本語の学習を続けるモチベーションとなっています。言葉のハンディで諦めたくない、もっと日本語が話せるようになって活躍できるようになりたいと思いました。

その後は、仕事に関することを、日本人スタッフに聞いたり、自分で調べたりしました。自分の仕事での行動やミスを説明する言葉も勉強しました。このように意識をするようになったら、仕事が楽しくなってきました。上司の顔色をうかがうことも少なくなってきました。これは諦めないで毎日勉強を続けた結果だと思っています。

現在の私は、毎日がとても楽しいです。日本に来た頃の退屈な日々はありません。毎週末は、いろいろな国の人と日本語で話をしたり、町を探検したりしています。とても和やかで穏やかな時間です。平日は楽しく働いて、週末もいろいろな仲間と過ごします。とても幸せです。はじめは日本語が話せなかった私ですが、こうして今では日本の生活を楽しています。

日本語を話したい、勉強したいと思っている外国の人に伝えたいです。日本での生活でスト

レスを感じても落胆らくたんしないで下さい。夢を持って、日本語の学習を続けてください。そうすることで世界が広がっていきます。私がそうでした。しかしそれは待っていても訪れません。自分がどう考えて行動するか。これが大切だと今の私は思っています。